

主要地方道 原宿六ツ浦笠間交差点改良事業

横浜市道路局

笠間十字路交差点の改良について

笠間十字路交差点は、県道原宿六ツ浦（環状4号線）と県道大船停車場矢部、市道笠間第139号線、市道笠間第142号線が交差する交通の要衝となっています。

県道原宿六ツ浦は、横浜市の外郭部を連絡する環状道路であり、栄区の主要なバス路線でもあります。現状は、交差点が複雑な形状であるため慢性的な渋滞が発生しています。

本事業では、交差点形状を改善し、県道原宿六ツ浦の4車線化整備を行うことにより渋滞の緩和、安全性の向上を図ります。

また、4車線化整備に伴い、既設水路の地中化や電柱等を無くして地中化する電線共同溝事業など、防災・減災対策も併せて進めます。

事業概要

区間	栄区笠間三丁目15番5号地先	～	笠間五丁目32番1号地先
延長	県道原宿六ツ浦	:	約475m
	県道大船停車場矢部	:	約180m
標準幅員	県道原宿六ツ浦	:	24.0m（交差点部）
	県道大船停車場矢部	:	14.5m
車線数	県道原宿六ツ浦	:	4車線（+右折車線）
	県道大船停車場矢部	:	2車線（+右折車線）

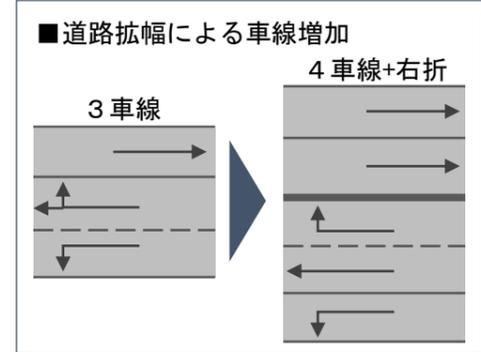


整備効果

1 渋滞の緩和

交通の流れを改善することで渋滞の緩和を図ります。

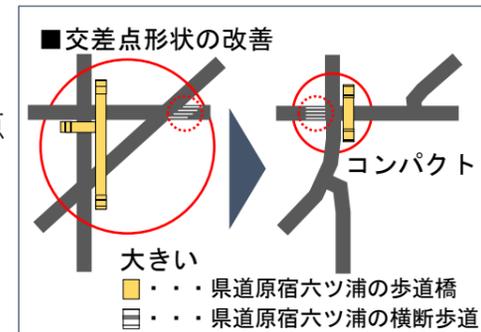
- ①複雑な6差路から通常の4差路に交差形態を変更
- ②県道原宿六ツ浦の車線数を増加
(交差点東側：3車線→4車線+右折車線)



2 安全性の向上

交差点形状を改善することで安全性の向上を図ります。

- ③歩行者が県道原宿六ツ浦を横断する箇所を1つの交差点内に集約
- ④道路どうしの接続角度を極力直角として見通しを確保



3 防災・減災力の強化

地震や大雨などへの対策を実施することで、まちの防災・減災力の強化を図ります。

- ⑤電線共同溝による無電柱化（緊急車両の通行機能確保）
- ⑥歩道橋の架け替え（耐震性向上）
- ⑦既設の水路を地中化（浸水対策）



今後の予定

令和元年度	:	設計・関係機関協議
令和2年度	}	用地取得、工事（道路、水路、歩道橋、電線共同溝）
令和7年度以降		
		※令和5年度は水路移設工事と拡幅部道路築造工事、電線共同溝設置工事、交差点道路築造工事を予定

お問い合わせ先

横浜市 道路局 横浜環状道路調整課
電話：045-671-3522 Mail: do-yokokangairo@city.yokohama.jp